

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		近隣施設の保育園・幼稚園・併設施設等との繋がりは定期的には有るが地元の班長・自治会・婦人会などのつながりが薄い様に思われる。	地域の方との繋がり、関わりをもちながら地域代表の方々に運営推進会議に参加頂きながら連携を深めサービス向上に努める。	市の高齢課にも依頼しグループホームの動向や制度の情報を得て研修会や勉強会を開催し、年間5回開催される運営推進会議を活用し地域の方々に参加を促すようにする。	12ヶ月
2		御家族様の終末期(看取り)についての関心が高くなっているが職員の体制が整っていない。	積極的に研修に参加し情報収集や知識を高め利用者・家族の不安解消に努める。	職員や家族に終末期(看取り)の研修等に参加し不安解消と情報の共有、マニュアルの見直しを行うようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。